

これまでの取り組み

- ・街路灯の整備(年)
LEDにリニューアル
- ・かもだんばんこ開設
- ・交流ネットワーク
「しあわせ百縁市」の開催

関連する行政計画

- 目標1:始良市加治木の顔”となり市全体をけん引する活力あふれるまち
施策1-1 商店街機能の集積
施策1-2 地域経済の活性化
- 目標2:かもだならではの魅力と賑わいあふれるまち
施策2-1 地域資源を活用した魅力づくり
施策2-2 誰もが利用しやすい移動手段の確保
- 目標3:誰もが「近くに住みたい・住み続けたい」と思うまち
施策3-1 居住環境の整備
施策3-2 街なか居住の促進(益の活用)

商圏人口 (1km²)

	2010年	総人口 3,784人	65歳以上 1,029人
	2050年	総人口 2,907人	65歳以上 1,069人

まち・商店街の将来像に対する検証

状況(例)

視点	まちの機能	状況(例)
人口	人口	<行政>年齢別将来メッシュ人口(総人口△人、65歳以上人口△人) <商店街>商圏の住宅の動向(着工△世帯: 増、減)
	コミュニティ	<行政>住民・自治会(町会)へのアンケートによるコミュニティが活性したとの認識△% <商店街>自治会主催のイベントへの参加および企画 △件
売上	売上	<商店街>組合員のうち、△%が売上増。
	店舗え・業種ミックス	<商店街>新規出店△件。新規業種 △件。 <商店街>物販、サービスの店舗数 △件
組合員のコミュニケーション	組合員のコミュニケーション	<商店街>イベント実施 △件、理事会等会議 △件

かもた通り商店街の将来像 (ビジョン)

人に優しい・自然にやさしい「かもだを愛するファン増加」へのチャレンジ

多世代交流の場となる商店街

ビジョンの具体化



広域集客イベント

- ①しあわせ百縁市の開催
- ②ほかほか師走市の開催
- ③かもだ祭り(夏祭り)
- ④かもだんマルシェ
- ⑤初市

情報発信

- ホームページ
- フェイスブック・インスタグラム
- ひゅうFMの活用
- ケーブルテレビの活用



コミュニティビジネス

- 空き店舗活用事業
- かもだんばんこの活用事業
- 認知症サポーター養成事業
- まちなかメディカルカフェの開催
- 子育て支援の拡充事業
- 健康増進ゼミの開催
- 安全整備防犯カメラの設置



環境美化事業

- プランター設置事業
- 街路灯整備

組合員間の相互交流

- ワークショップや懇親会の実施
- 理事会ニュースの配布
- LINE@の活用
- 高校生アンケートの実施

広域向け

かもだ向け

組合員・他の事業者の評価・反応

かもだ通りを知つてもらうための取り組み。顧客が固定化している。元々の目的をもう一度見直したい。できたきっかけ「言い伝え」があるものは残し、ないものはやめることも考える。

かもだ通りやイベント等の認知度を上げたい。
ひゅうFMの電波改善。商店街からの発信もしたい(要検討)

大家さん、不動産屋との連携がうまくできていない。

認知症サポーター養成事業・まちなかメディカルカフェ・健康増進セミナー(街ゼミ)への参加者が増えてきている。H29年11月に増設。もう一機増やしたい。(市生活安全課予算)

一部維持管理がおろそかになっている場所がある。

おかみさんなど、理事以外が参加できる会が以前はあったが予算・参加者の都合でなくなっている。
LINE@グループ、マーリングリストで情報共有ができるようになった。
店舗イベントを各店舗に共有(要検討)

龍桜高校と商店街がwin-winになることが必要。

顧客・住民・自治会・行政等の評価・反応

認知度 ()は龍桜高校認知度
しあわせ百縁市 87.5%(16.7%)
師走市・初市 87.5%(40.6%)
かもだ祭り 85.4%(28.3%)
かもだんマルシェ 50.0%(10.2%)
天使のブチサロン 41.7%(39.3%)

ホームページ
認知度 27.1%(4.2%)

認知度 ()は龍桜高校認知度
かもだんばんこ 58.4%(13.1%)

認知度 ()は龍桜高校認知度
健康増進ゼミ 58.4%(8.5%)
高齢者見守り活動 35.4%(4.6%)

認知度 ()は龍桜高校認知度
街路灯 56.3%(3.7%)
景観美化 62.5%(8.1%)

今後の事業の改善・見直し

三大市である初市と師走市の活用。自分の店の商品を出して売上に結び付ける工夫をする。
クーポン券の配布、後日ネット抽選等
島津義弘公など歴史を活かす。
一般の人も参加できる市などを検討し、かもだ通りに出店を増やす取り組みを検討する。

情報発信の充実化。
昔のかもだ通りの写真を集め、ストーリーとともに発信したい。

かもだ通りの企業・住民サポート制度を設ける。

認知症サポーター養成事業を継続する。高齢者・障害者の安全対策を図る。

金融機関との連携を強化する。
講演会、勉強会を企画してもらう。

商店街に係る様々な人と意見交換して、発信する情報を集める。
地域の人が交流する機会をつくる。(手持ち弁当会?)

地区内3つの高校との連携強化。
定期的なアンケート、サポートとして活動を参加してもらう。
加治木高校のイベントへの協力は継続していただく。